

## 地域の会第119回定例会 資料

平成25年5月8日  
原子力規制委員会  
原子力規制庁

資料1：前回定例会（4月10日）以降の原子力規制庁の動き（p. 1）

資料2：原子力規制庁の主な対応（4月10日以降）（p. 5）  
（東京電力福島第一原子力発電所関連）

資料3：放射線モニタリング情報（p. 13）



前回定例会（4月10日）以降の原子力規制庁の動き

平成25年5月8日  
原子力規制委員会  
原子力規制庁

1. 被規制者等との面談（東京電力（柏崎刈羽原子力発電所）における安全文化醸成活動等）  
について

原子力規制委員会 柏崎刈羽原子力規制事務所は、4月12日、東京電力との間で、安全文化・組織風土劣化防止に係る取り組みについて、平成24年度評価結果と要請事項について意見交換を行い、議事要旨等を公開しました。

2. 被規制者等との面談（東京電力（柏崎刈羽原子力発電所）における安全文化醸成活動等）  
について

原子力規制委員会 柏崎刈羽原子力規制事務所は、4月18日、東京電力との間で、安全文化醸成活動等についての意見交換を行い、議事要旨等を公開しました。

<検査実績（4月10日～5月8日）>

- ・ 3号機 安全確保上重要な行為の保安検査（燃料取出）（4月16日～5月21日予定）
- ・ 5号機 安全確保上重要な行為の保安検査（燃料取出・装荷）（4月9日～4月26日予定）
- ・ 6号機 安全確保上重要な行為の保安検査（燃料取出・装荷）（3月29日～4月16日）

以上

## 被規制者との面談記録

1. 件名：東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所における安全文化醸成活動について
2. 日時：平成25年4月12日（金）14時30分～15時30分
3. 場所：柏崎刈羽原子力発電所内保安検査グループ会議室
4. 出席者  
原子力規制庁柏崎刈羽原子力規制事務所：飯野所長、吉村原子力保安検査官  
東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所：品質・安全部長 他7名
5. 要旨
  - ・事業者の安全文化・組織風土劣化防止に係る取り組みについて、平成24年度評価結果と要請事項について意見交換を行った。
6. その他  
当方からの提出資料  
「安全文化・組織風土劣化防止に係る取り組みについての柏崎刈羽原子力規制事務所の指摘事項（平成25年4月12日版）」

## 被規制者との面談記録

1. 件名：原子力規制事務所と発電所との意見交換について
2. 日時：平成 25 年 4 月 18 日（木） 14 時 35 分～15 時 25 分
3. 場所：柏崎刈羽原子力発電所 事務本館応接室
4. 出席者  
原子力規制庁柏崎刈羽原子力規制事務所：飯野所長、山崎防災専門官  
東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所：横村所長
5. 要旨  
品質マネジメントシステム、安全文化醸成活動、新規制基準、原子力防災等に係る取組について意見交換を行った。
6. その他  
資料なし



## 原子力規制庁の主な対応（4月10日以降）

（東京電力福島第一原子力発電所関連）

平成25年5月8日

柏崎刈羽原子力規制事務所

### 【4月19日】

- ・ 東京電力福島第一原子力発電所廃炉対策推進会議への参加。
- ・ 原子力規制委員会は、「特定原子力施設監視・評価検討会」第9回検討会を開催しました。福島第一原子力発電所における地下貯水槽からの漏えいに関しては、東京電力より地下貯水槽計画の経緯、現在の対応状況、今後の方向性等について報告があり、審議が行われました。

### 【5月1日】

- ・ 原子力規制委員会は、原子力規制委員、原子力規制庁職員、外部有識者、原子力安全基盤機構、日本原子力研究開発機構職員からなる「東京電力福島第一原子力発電所における事故分析に係る検討会」第1回会合を開催しました。今後、追加分析等の進捗状況を踏まえつつ、当面の間は月1回程度を目安として継続的に開催します。

（以上）





# 特定原子力施設監視・評価検討会 第9回会合

## 議事次第

1. 日 時 平成25年4月19日(金) 13:30~17:30

2. 場 所 原子力規制委員会 13階会議室A

### 3. 議 題

- (1) 地下貯水槽からの漏えいについて
- (2) 汚染水処理の現状と今後の対応について
- (3) 放射性廃棄物の処理・保管・管理計画と今後の確認について
- (4) その他

### 4. 配布資料

資料1-1: 地下貯水槽計画の経緯、現在の対応(要因分析他)と今後の方向性について [東京電力]

資料1-2: 第8回 特定原子力施設監視・評価検討会に対するコメント回答  
・ 地下貯水槽使用停止に伴う水処理運転計画について  
・ 地下貯水槽使用停止に伴うろ過水タンクの使用について [東京電力]

資料1-3: 多核種除去設備のホット試験について [東京電力]

資料1-4: 地下貯水槽から漏えいした汚染水に含まれる放射性核種の移行評価 [JAEA]

資料2-1: 地下水流入に対する止水対策について [東京電力]

資料2-2: 汚染水処理の現状と今後の対応について

資料3: 東京電力福島第一原子力発電所における放射性廃棄物の処理・保管・管理計画と今後の確認について(案)

資料4-1: 第8回会合資料に対する委員からのコメントについて [東京電力]

資料4-2: 検討会におけるこれまでの実施計画の審議状況等について

### <参考資料>

参考1: 特定原子力施設への指定に際し東京電力株式会社福島第一原子力発電所に対して求める措置を講ずべき事項について

参考2: 「特定原子力施設に係る実施計画」の一部補正について [東京電力]

参考3: 前回会合後に外部専門家から提出されたご意見

### <机上配布>

- ・ 福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画 [東京電力]



# 東京電力福島第一原子力発電所における事故分析に係る検討会 第1回会合

## 議事次第

1. 日 時 平成25年5月1日(水) 13:00~15:00
2. 場 所 原子力規制委員会 13階会議室A
3. 議 題
  - (1) 東京電力福島第一原子力発電所における事故分析に係る検討会の設置
  - (2) 今後の検討会の進め方
4. 配布資料
  - 資料1 : 東京電力福島第一原子力発電所における事故分析に係る検討会について
  - 資料2-1 : 東京電力福島第一原子力発電所における事故分析の今後の進め方について(案)
  - 資料2-2 : 各事故調報告書等において検討課題とされている事項
  - 資料3 : 1号機原子炉建屋内における出水について
  - 資料4 : 4号機水素爆発における水素発生源について

## 東京電力福島第一原子力発電所における事故分析に係る検討会について

平成25年3月27日  
原子力規制委員会

### 1. 基本的な考え方

- 東電福島第一事故の継続的な事故分析は、原子力規制委員会の重要な所掌事務の一つであり、長期に亘る原子炉内の調査等も踏まえつつ、技術的な側面から継続し、必要な知見を安全規制に取り入れていくことが重要。
- これまでに国会、政府等において事故調査報告書がまとめられ、基本的な事象進展等について整理されているところ。一方で、現地調査が困難である等の制約要因により、引き続き確認すべき技術的な論点も残されている。
- さらに、原子炉等の設備・機器が事故及びその後の対応によって受けた影響分析についても、今後の安全確保の観点から重要な課題である。
- そのため、これらの点も含め技術的に解明すべき論点について分析する体制を構築し、中長期に亘って継続的に検討を実施する。

### 2. 検討の進め方

- 原子力規制委員、原子力規制庁職員、外部有識者、原子力安全基盤機構、日本原子力研究開発機構職員からなる検討会を設置し、必要に応じて東京電力による調査結果等も報告させつつ、個別論点単位で検討を行う。
- 現場調査については、放射線量等の制約条件も踏まえつつ、有効な調査方法を十分に検討した上で、条件が整った段階で必要な調査を行う。
- 検討会の成果については個別論点単位でレポートに整理し、順次公表する。

### **3. 主な論点例**

- 国会、政府事故調において引き続き検証等が必要とされている事項
  - ・地震動による安全上重要な設備等への影響
    - 小規模な冷却材喪失事象の発生の可能性及びその影響
    - 一部の非常用交流電源が津波以外の要因によって喪失した可能性 等
  - ・事象進展に関連する論点
    - 1号機非常用復水器(IC)の作動状況(弁動作等)、出水元の特定
    - 1号機の逃し安全弁(SR弁)の作動状況
    - 3号機使用済燃料プールにおける再臨界の可能性
    - 4号機原子炉建屋の水素爆発における水素発生源 等
- 事故及びその後の対応によって受けた影響分析が必要と考えられる事項
  - ・格納容器の破損箇所の特定
  - ・格納容器の劣化等に係る分析(海水影響、高温高圧による影響)
  - ・溶融落下したデブリの状況確認 等
- その他技術的に分析等が必要と考えられる事項
  - ・放射性物質の漏えい経路及び放出量評価
  - ・圧力抑制室における温度成層化の可能性 等

※なお、迅速な措置が求められる廃炉作業が、個別論点に係る機器等に影響を及ぼし得る場合には、作業内容の事前聴取や必要な記録の作成等、事故分析に影響がでないようにすることが重要。

### **4. 検討スケジュール** (※平成25年5月1日時点)

- 今後実施する追加分析等の進捗状況を踏まえて継続的に開催する。  
(当面の間は、月1回程度を目安として開催)

「東京電力福島第一原子力発電所における事故分析に係る検討会」メンバー

(平成25年5月1日時点)

担当委員

更田 豊志 原子力規制委員会委員

外部専門家

橘高 義典 首都大学東京大学院 教授

久木田 豊 名古屋大学 名誉教授

高木 郁二 京都大学大学院 教授

高田 毅士 東京大学大学院 教授

奈良林 直 北海道大学大学院 教授

原子力規制庁

安井 正也 緊急事態対策監

山本 哲也 審議官

山形 浩史 安全規制管理官(BWR 担当)

古金谷 敏之 原子力防災課 事故対処室長 他

(独)原子力安全基盤機構

阿部 清治 技術参与

荻野 正男 主幹

小林 正英 品質管理推進室長

平野 雅司 総括参事

星 陽崇 上席研究員 他

(独)日本原子力研究開発機構 安全研究センター

鬼沢邦雄 安全研究計画調整室長代理

丸山 結 リスク評価・防災研究グループ グループリーダー

与能本 泰介 熱水力安全研究グループ 研究主席

渡邊憲夫 規制情報分析室長 他

※オブザーバーとして適宜、東京電力、資源エネルギー庁からも出席を求める。

※必要に応じて、適宜メンバーの追加等を行う。

## 放射線モニタリング情報

原子力規制委員会から発表された放射線モニタリング情報は、  
<http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/index.html>に掲載されています。大部と  
なっておりますので、HPにてご確認いただければと存じます。なお、直近の主  
な情報について以下のとおりご紹介します。

- ① 東京電力（株）福島第一原子力発電所の20Km以遠のモニタリング結果  
[平成25年5月1日（水曜日）版]  
[http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/8000/7445/24/195\\_0501.pdf](http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/8000/7445/24/195_0501.pdf)
- ② 東京電力（株）福島第一原子力発電所の20Km以遠の積算線量の測定結果  
[平成25年5月7日（火曜日）版]  
[http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/8000/7451/24/214\\_0507.pdf](http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/8000/7451/24/214_0507.pdf)
- ③ 東京電力（株）福島第一原子力発電所の20km圏内の空間線量率の測定結果  
(平成25年4月22～25日測定) [平成25年4月30日（火曜日）版]  
[http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/8000/7436/24/206\\_0430.pdf](http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/8000/7436/24/206_0430.pdf)
- ④ 福島県沿岸・沖合の海水の放射能濃度分布（試料採取日：平成25年3月8日）  
[平成25年4月26日（金曜日）版]  
[http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/8000/7429/24/278\\_f\\_0426.pdf](http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/8000/7429/24/278_f_0426.pdf)
- ⑤ 各都道府県のモニタリングポスト近傍の地上1m高さの空間線量  
[平成25年5月7日（火曜日）版]  
[http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/8000/7456/24/192\\_1\\_0506\\_0507.pdf](http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/8000/7456/24/192_1_0506_0507.pdf)